



さくらい はじめ 議員



新花巻図書館の整備

Q

市民説明会における説明内容は、JR東日本所有の土地購入の是非を求める内容であったが、このような説明会の内容でよかったのか伺う。

A

市における図書館建設場所の絞り込みが必要とのJR東日本盛岡支社の意向であった。JR東日本との売買交渉に入るに当たり、市民の意向を確認する必要があるという観点からの市民説明会となった。そのことよって、新花巻図書館が花巻駅前に決まったということにはならない。

Q

市民説明会における建設候補地についての市民の反応は、必ずしも花巻駅前に偏重したものではないと受け止められるかどうか伺う。

A

建設候補地を、JR東日本所有のスポーツ用品店敷地に限っているものではない。スポーツ用品店敷地が良いという意見と、旧総合合花巻病院跡地が良いという意見があり、現時点では若い世代からスポーツ用品店敷地が良いという意見が多いことなどを鑑みると、旧総合合花巻病院跡地を建設場所と決めることは困難である。



さくらい はじめ 議員



シルバー人材センター

Q

定年延長等に伴いシルバー人材センターの会員が集まらないと聞いているが、市における会員数を増やすための支援について伺う。

A

シルバー人材センターの取り組みを紹介するため、毎年度行政区长を通じてチラシを世帯回覧している。さらにシルバー人材センターとの話し合いを通じて必要な対応を検討する。また、シルバー人材センターへの支援として国の補助金と同額の補助金を交付している。

Q

複式学級の現状と今後の見込みおよび石鳥谷地域における小中一貫校導入について伺う。

A

複式学級を有する学校は笹間第二小学校と新堀小学校の2校であり、今後は八重畑小学校でも可能性がある。小中一貫校導入の優先順位や判断基準は設けていないが、11月から石鳥谷地域の小学校PTAにおいて教育懇談会を開催しており、今後、保護者、学校、地域で学校統合や小中一貫校導入に理解をいたしたい場合に、総合的な観点から判断する。



さくらい はじめ 議員



JR花巻駅橋上化・東西自由通路の整備

Q

花巻駅橋上化と自由通路の整備だけでは駅周辺の活性化につながらないと考えるが、橋上化による駅周辺への効果について伺う。

A

花巻駅西側地域の市民の利便性を向上させる事業であり、民間活力ではなく、市にしかできない事業である。このことにより、民間活力の活性化につながっていくことが、花巻駅西側地域の維持、発展や、若い世代が住みやすいまちづくりへ向かうための一つの基盤となるものと考えている。

Q

事業の実施に向け、駅舎と自由通路のデザインコンセプトの検討およびJR東日本との事前協議をまもなく進めるとしているが、基本設計の予算を3月定例会に提案するのであれば、その前に事前協議を進めることは拙速と考えるが、市の考えを伺う。

A

事業を遅滞なく進めるため、令和5年度当初にJR東日本との基本協定締結に向けた協議を行いたいと考えている。また、実施設計からの補助金を受けるため、令和5年12月頃の都市再生整備計画策定に向けて作業を進めたいと考えている。



いたない かずひろ 議員



効率的な行政運営

Q

効率的な業務推進のためのテレワークの推進およびフリーアドレスの導入についての考えを伺う。

A

新型コロナウイルス感染症対策として、現在、全ての市職員が在宅勤務をすることのできる環境にあるが、窓口対応や電話での問い合わせなど住民との距離が近い業務が多いことなど、通常時の働き方として実施するには課題が多い。フリーアドレスの将来的な導入も含めて、今後検討していく。

新型コロナウイルス感染症対策

Q

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における事業の検証と評価、次年度以降の取り組みについて伺う。

A

中小企業売上アップ応援事業や温泉宿泊施設等利用促進事業をはじめとした市内事業者の支援、子育て世帯、ひとり親世帯、就学援助世帯、大学生等をはじめとする市民生活の支援に大きな効果があった。次年度以降の交付金の動向は不透明だが、事業によっては一般財源の活用も図り実施する可能性がある。

コミュニティ会議

Q

コミュニティ会議への支援内容、抱えている課題、今後の支援の方向性について伺う。

A

平成19年度から地域づくり交付金を交付し、ハード事業、ソフト事業に活用いただいている。課題として役員の担い手不足、事業の固定化、住民の参画不足が挙げられる。地域における自主的なまちづくりを推進するためには、今後とも地域課題の解決に向けた持続的な取り組みが重要であり、地域づくり交付金について継続して交付していきたい。

人材育成

Q

各企業の人材育成への取り組みに対する市の支援内容、また個人のスキルアップ、資格習得に対する支援の有無について伺う。

A

花巻市企業競争力強化支援事業補助金のメニューの中に人材育成の項目を設けており、市内企業が外部機関による研修を従業員に受講させる費用等に対して、補助率2分の1以内、限度額15万円として交付している。個人への支援に関しては、市民のニーズを見定め、必要に応じて検討していきたい。

予期しない妊娠への支援

Q

支援について今後の取り組みを伺う。

A

思春期の子どもたちの現状を、行政や教育関係者が改めて理解することが必要であることから、県立中部病院の先生から指導をいただき、市内の保健師や中学校の教諭、養護教諭向けの思春期保健講演会を3月に開催する。令和5年度からは、中学生を対象とする講演会を定期的に開催し、命と性に関する正しい知識とこれからのライフスキルを身につけてもらう機会としたいく。

児童生徒のてんかん発作時の対応

Q

教職員等による口腔用液の投与体制について伺う。

A

当該校では事前に医師や保護者と連携し、研修等の実施やマニュアルの整備など体制を整えて対応していく必要がある。医師会等の指導をいただきながら、まずは養護教諭を中心に研修等を実施していく。また、発作が起きて初めて当該児童生徒がてんかんであることが分かった事例もない学校でも、てんかんについての理解といざというときの対応に備えていく。